

ふたりの女王 メアリーとエリザベス (2018)

MARY QUEEN OF SCOTS

メディア 映画

ジャンル ドラマ 歴史劇

製作国 イギリス

色彩 Color

時間 124分

初公開日 2019/03/15

公開情報 ビターズ・エンド=パルコ

映倫 G

【キャッチコピー】

女王は私ひとりだけ

【解説】

16世紀の英国を舞台に、従姉妹でありながらそれぞれスコットランドとイングランドの女王として対峙していくメアリー・スチュアートとエリザベス1世の数奇な運命を「レディ・バード」のシアーシャ・ローナンと「アイ、トニーヤ 史上最大のスキャンダル」のマーゴット・ロビーの主演で映画化した歴史ドラマ。共演はジャック・ロウデン、ジョー・アルウィン、デヴィッド・テナント、ガイ・ピアース。監督は英国演劇界を代表する女性演出家の一人で本作が長編映画監督デビューとなるジョーシー・ルーク。

スコットランドに生まれたカトリックのメアリー・スチュアートは、0歳でスコットランド女王になるも、イングランドの王位継承権を持つ彼女を警戒し、その命を狙うイングランドから逃れるため、幼くしてフランスへ渡る。やがて16歳でフランス王妃となったメアリーだったが、18歳で未亡人となり、スコットランドへ帰国する。しかしスコットランドではプロテスタントが勢力を拡大させており、メアリーの周囲にも常に不穏な空気が漂っていた。一方、隣国イングランドでは、エリザベス1世が25歳で即位していた。未だ世継ぎのいないエリザベス1世とその側近たちは、次第にメアリーの動向に神経を尖らせていくのだったが…。

【クレジット】

監督	ジョーシー・ルーク	Josie Rourke	
製作	ティム・ビーヴァン	Tim Bevan	
	エリック・フェルナー	Eric Fellner	
	デブラ・ヘイワード	Debra Hayward	
製作総指揮	アメリア・グレインジャー	Amelia Granger	
	ライザ・チェイシン	Liza Chasin	
脚本	ボー・ウィリモン	Beau Willimon	
撮影	ジョン・マシソン	John Mathieson	
プロダクション デザイン	ジェームズ・メリフィールド	James Merifield	
衣装デザイン	アレクサンドラ・バーン	Alexandra Byrne	
編集	クリス・ディケンズ	Chris Dickens	
音楽	マックス・リヒター	Max Richter	
出演	シアーシャ・ローナン	Saoirse Ronan	メアリー・スチュアート (スコットランド女王)

マーゴット・ロビー	Margot Robbie	エリザベスⅠ世（イングランド女王）
ジャック・ロウデン	Jack Lowden	ヘンリー・スチュアート（ダーンリー卿）
ジョー・アルウィン	Joe Alwyn	ロバート・ダドリー（レスター伯）
ジェンマ・チャン	Gemma Chan	ベス・オブ・ハードウィック
マーティン・コムストン	Martin Compston	ジェームズ・ヘップバーン（ボスウェル伯）
イスマエル・クルス・コルドバ	Ismael Cruz Cordova	デビッド・リッチオ
ブレンダン・コイル	Brendan Coyle	マチュー・スチュアート
イアン・ハート	Ian Hart	メイトランド卿
エイドリアン・レスター	Adrian Lester	ランドルフ卿
ジェームズ・マッカードル	James McArdle	ジェームズ／スチュアート（マリ伯）
デヴィッド・テナント	David Tennant	ジョン・ノックス
ガイ・ピアース	Guy Pearce	ウィリアム・セシル（パーリー男爵）